

長野県の災害対応

平成28年3月29日
長野県危機管理部

長野県の災害時等の本部体制

災害時等における体制は6段階

○長野県災害対策本部（A体制）

災害対策基本法に基づく本部

本部長：知事

副本部長：副知事

本部員：全部局長、県警本部長

長野県の災害時等の本部体制

○警戒・対策本部(B・C・D体制)

要綱に基づく本部

B体制：知事又は副知事を本部長とした
全庁的体制

C体制：副知事又は危機管理監を本部長
とした関係部局での体制

D体制：部局長を本部長とした体制

長野県の災害時等の本部体制

○警戒・対策連絡会議(本部)

要綱に基づく本部

E体制：当該危機を主に担当する部局長
又は担当課長及び関係課長又は
担当者をもって構成

F体制(通常体制)：

担当課が日常対応で処理

職員非常参集体制

○全体体制：1,618人

県下に震度6強以上の地震が発生 等

○緊急体制：428人

県下に震度6弱の地震が発生 等

○非常体制：180人

県下に震度5弱・強の地震が発生

特別警報・噴火警戒レベル4以上発表 等

○警戒二次体制：24人

県下に震度4の地震が発生

噴火警戒レベル3発表 等

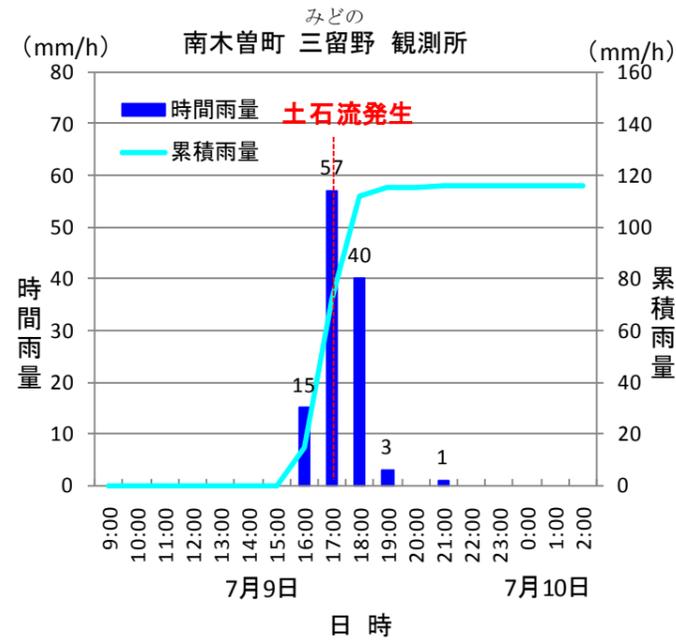
災害対応

- 南木曾町土石流災害（資料1）
平成26年7月9日 発生
- 御嶽山噴火災害（資料2）
平成26年9月26日 発生
- 長野県神城断層地震（資料3）
平成26年11月22日 発生

平成 26 年台風第 8 号に伴う大雨災害による南木曾町の影響及び対応の状況について

1 降雨の状況

7 月 9 日の夕方から降り出した雨は、16 時から 3 時間で 112mm の降水量を記録した。17:40 頃 梨子沢で土石流が発生し、下流域に被害を及ぼした。



2 被害の状況

(1) 人的・建物の被害状況 (南木曾町) (8月26日 現在)

区分	被害数
人的被害	死亡 1名
	軽傷 3名
住家被害	全壊 10棟
	半壊 0棟
	一部損壊 3棟
	床上浸水 3棟
	床下浸水 6棟

(2) 交通の被害状況

区分	被害状況	運行・通行状況
鉄道	被災区間 中央本線 南木曾駅～十二兼駅	7月9日 発災後から、 特急しなの運休 7月14日から 坂下駅～野尻駅間を、バス代行 輸送により運行実施 8月6日 通常運行
道路	規制区間 国道19号 南木曾町読書の 梨子沢等で発生 した土石流の流入	7月9日 18:10から通行止め 7月10日 02:00区間縮小 7月12日 07:00通行止解除 現在規制区間なし

3 避難の状況

区分	発令対象	避難状況
避難指示	南木曾町読書地区 (坂の下・東町地区) 7月9日 17:41 115世帯 282名 7月12日 8:30 全解除	7月9日 17:50 避難所7箇所 避難者241世帯 534名 7月11日 15:00 避難所4箇所 避難者133世帯、241名
避難勧告	南木曾町読書地区 (坂の下・東町地区除く) 7月9日 17:50 558世帯 1,363名 7月9日 22:40 一部解除 145世帯 347名 7月11日 9:00 一部解除 224世帯 592名 7月12日 8:30 全解除 189世帯 424名	7月12日 21:00 避難所2箇所 避難者65名 7月16日 08:00 避難所1箇所 避難者4名 7月27日 19:00 避難所閉鎖、避難者0名
避難準備情報	南木曾町妻籠地区ほか 7月9日 17:50 495世帯 1,179名 7月9日 20:30 全解除 南木曾町坂の下・東町地区 7月13日 17:30 115世帯 282名 7月14日 09:53 全解除	

4 県等の対応状況

日 時	実施内容
7月9日(水)	
17:15	警報発表を受け、県危機管理部宿直体制の強化(2人→8人)
17:40頃	南木曾町 読書 梨子沢 で土石流発生
17:41	南木曾町災害対策本部設置
18:18	県警機動隊11名 救助活動のため出動
18:57	県は警戒二次体制へ強化 木曾地方事務所に体制強化及び南木曾町への情報連絡員の派遣指示 下伊那地方事務所に南木曾町への情報連絡員の派遣指示
19:15	JR東海から十二兼駅(南木曾町)の特急乗客への食料支援の要請 木曾地方事務所の備蓄物資を南木曾町へ搬送指示 【県備蓄品供与】 アルファ化米：JR十二兼駅150食、南木曾町役場200食 飲料水(500ml)：JR十二兼駅192本、南木曾町役場96本
19:40	県災害対策本部設置
20:12	自衛隊長野地方協力本部 連絡員2名受入れ
20:20	日本赤十字社に被災地へ毛布150枚、安眠セット30個提供依頼(木曾町日赤倉庫発)
21:15	第1回県災害対策本部員会議 開催
22:00	木曾地方事務所職員 3名南木曾町役場に到着
23:00	南木曾町に災害救助法適用 同時にプレスリリース実施
23:30	第13普通科連隊 連絡員2名受入れ
7月10日(木)	
0:20	県警機動隊による現場周辺の安否確認終了
1:30	国土交通省のヘリ現地調査に木曾建設事務所職員2名を派遣
5:30	県警ヘリによる上空からの災害状況調査実施 (災害対策本部員会議でヘリテレ映像により災害現場を確認) 木曾建設事務所の職員4名を道路の災害状況調査に派遣 木曾建設事務所の職員8名を梨子沢及び大沢田沢の調査に派遣
6:00	避難者307名に食料提供(木曾地方事務所備蓄物資等)
6:30	必要物資(毛布)の調達
7:30	木曾保健福祉事務所の保健師を南木曾町に派遣(他の保健福祉事務所からの応援も得て、翌日以降も派遣継続)
8:30	第2回県災害対策本部員会議 開催
9:30	和田副知事による被災状況現地調査実施
12:30	日本赤十字社に毛布200枚、安眠セット40個提供依頼(木曾町日赤倉庫発) 建設部職員を情報収集・技術支援のため昼夜交代で2名ずつ南木曾町へ派遣 (以降毎日継続)
14:30	松本地方事務所の備蓄品(飲料水500ml 960本)の南木曾町への搬送指示
15:00	第3回県災害対策本部員会議 開催
24:00	警戒二次体制、県危機管理部宿直体制の強化を継続中 教育委員会がスクールカウンセラーを南木曾小学校・中学校に派遣 避難所に食料供給(夕食550食)※県から協定業者へ要請

日 時	実施内容
7月11日(金)	
11:00	木曾建設事務所職員4名が河川災害調査を実施(防災サポートアドバイザー2名が協力)
13:30	避難所に獣医師、薬剤師派遣 避難所に物資提供(避難所用間仕切20セット) 避難所にリース物資提供(大型扇風機12機、冷風機8機)
13:30	政府調査団へ要望書提出
15:30	第4回県災害対策本部員会議 開催 JR東海に鉄道不通区間のバス代行輸送及び早期復旧を要請 避難所に食料供給(朝食400食、昼食150食、夕食350食)
7月12日(土)	
8:30	建設部・木曾建設事務所職員3名が緊急調査を実施(砂防ボランティア調査に同行)
10:30	県警ヘリによる現地調査
11:00	避難所に物資提供(氷1kg 3,000個)
14:30	避難所に物資提供(避難所用室内テント10セット、剣スコップ30本、角スコップ30本、鋤簾30本、バケツ30個、ブルーシート200枚) 避難所に食料供給(朝食350食、昼食350食)
7月13日(日)	
11:00	長野地方事務所の備蓄物資(アルファ化米1,000食)を木曾地方事務所に搬入 避難所にリース物資提供(簡易ベッド10台) 建築住宅課職員を住宅の危険度調査のため、南木曾町に派遣
7月14日(月)	
13:00	精神保健福祉センター職員を、南木曾町役場・南木曾小学校に派遣 木曾農業改良普及センターが、南木曾町役場内に相談窓口を開設 避難所にリース物資提供(仮設風呂1台)
7月15日(火)	
	県警本部長による被災状況現地調査
7月16日(水)	
9:30	第5回県災害対策本部員会議 開催 義援金の募集開始(県庁及び県合同庁舎に募金箱を設置) 避難所にリース物資提供(洗濯機1台、乾燥機1台) 水道技術職員を上水道被災施設復旧のため南木曾町に派遣 木曾地方事務所が、南木曾町役場内に住宅相談窓口を開設 JR東海に被災区間の早期の運行再開について要望書を提出
7月18日(金)	
	土木技術職員を災害関係の技術的支援のため南木曾町に派遣
7月22日(火)	
	南木曾町に被災者生活再建支援法適用 同時にプレスリリース実施
7月28日(月)	
10:00	南木曾町災害対策本部廃止 → 南木曾町復興対策本部に移行
7月30日(水)	
15:00	第6回県災害対策本部員会議 開催
15:30	県災害対策本部廃止

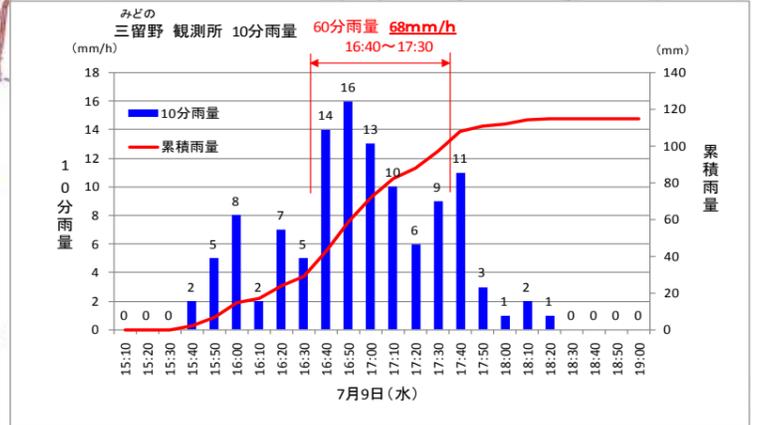
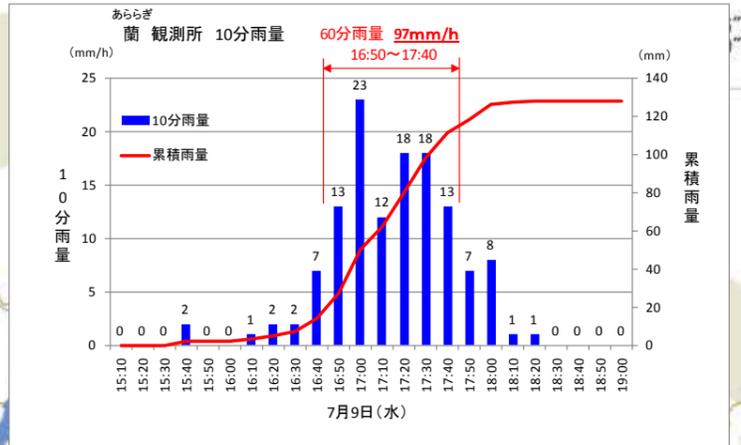
位置図



長野県

南木曾町 読書

土石流発生 7月9日(水)17:40頃
被害状況
人的被害:死亡 1名、軽傷 3名
住家被害:全壊 10棟、半壊 0棟、一部損壊 3棟
避難指示:115世帯 282人(7/9 17:41)
避難勧告:558世帯1,363人(7/9 17:50)



位置図



○対応状況

- 9月27日
- 13:20 警戒対策本部設置(長野県)
 - 13:35 災害警備本部設置(長野県警察)
 - 13:55 長野県警察本部機動隊出動
 - 14:10 御嶽山噴火災害対策本部設置(長野県)
 - 14:30 災害医療本部設置
 - 14:31 自衛隊に災害派遣要請
 - 15:26 DMAT出動要請
 - 16:40 関係省庁連絡会議開催(国)
 - 20:30 緊急消防援助隊 出動要請
 - 22:10 県消防応援活動調整本部設置
- 9月28日
- 13:00 非常災害対策本部設置(国)
 - 15:30 御嶽噴火に係る政府調査団(内閣副大臣)
 - 22:00 非常災害現地対策本部設置(国)

○噴火概要

御嶽山では、9月27日11時52分頃に噴火が発生しました。今回の噴火の規模は1979年の噴火と同程度と考えられます。火砕流が南西方向に3キロメートル以上流下し、気象レーダーの観測によると噴煙は東に流れ、その高度は火口上約7,000メートルと推定されます。その後の上空からの調査によると、噴火は剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東にのびる火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から1キロメートルの範囲に飛散しているのが確認されました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められませんでした。また、噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は確認されておらず、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられます。御嶽山で噴火が発生したのは2007年以来です。
(火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解から引用)

○御嶽山 噴火災害(平成26年10月23日13:00現在)
 噴火日時 平成26年9月27日(土) 11:52分頃
 被害状況
 人的被害:死亡57名、重傷27名、軽傷32名
 行方不明:6名



標高3000m付近の捜索救助活動のためヘリを使用し活動部隊を展開。



山岳地域の急斜面での捜索救助活動のため、ヘリ収容が困難な場合は、隊員による人力搬送も行う。



火山性ガスの発生濃度を常に確認しながら捜索救助活動を行う。

山麓松原スポーツ公園からヘリにより部隊を展開。



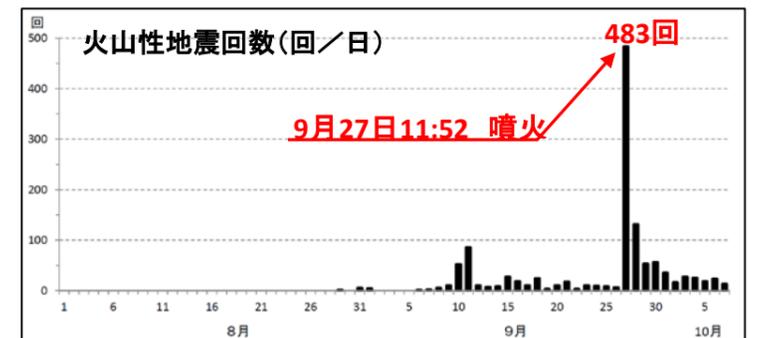
～国土地理院10/7撮影～



王滝村 滝越カマ 噴火直後の状況(27日 11:56)

～国土交通省ライブ映像～

堆積した火山灰は泥濘し、足場の悪い中、金属探知機、探査棒を使用して要救助者の捜索を実施。



～気象庁発表資料～

長野県神城断層地震災害について

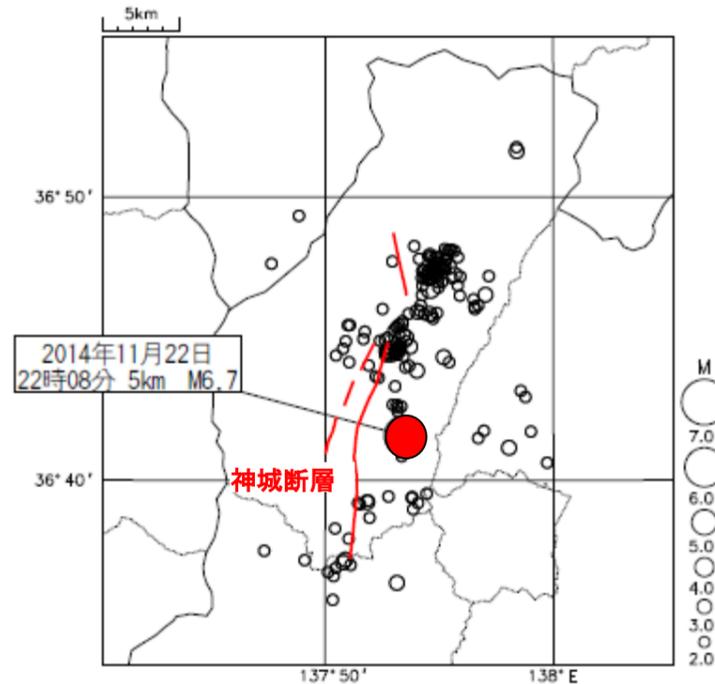
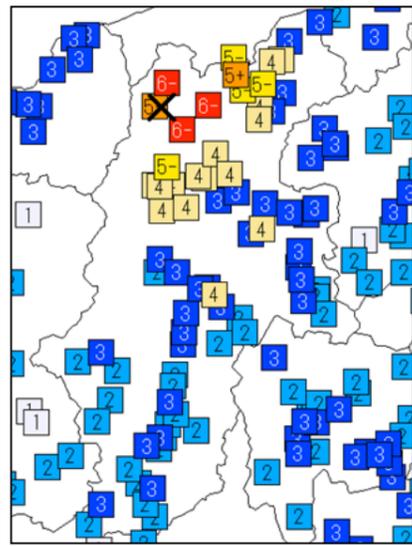
資料3

長野県危機管理防災課

1 地震の概要

地震の発生	平成26年11月22日 22時08分
地震の規模・震源の深さ	マグニチュード6.7 深さ5キロメートル
県内の主な震度分布	震度6弱 長野市、小川村、小谷村 震度5強 信濃町、白馬村
地震の評価	震源域付近には糸魚川-静岡構造線活断層系の一部である神城断層が存在している。今回の地震は、神城断層の一部の活動による可能性が高いが、詳細は今後の調査観測結果等を踏まえさらに検討を行う必要がある(H26.11.23 地震調査委員会)。
余震の発生	姫川沿いに小谷村から白馬村の南北約20キロメートルの余震域で発生している。(最大の余震 11月22日 22時37分 小谷村(震度5弱))

震度分布図並びに本震及び余震の震央分布図(11/22~12/1)(気象台提供)



2 県の主な対応について

(1) 県本部の動き

日時	対応内容
11/22 22:08	長野県地震災害対策本部、北安曇・長野地方部設置
11/22 22:08	長野市、小川村、小谷村(震度6弱以上)、白馬村に情報連絡員を派遣
11/22~	白馬村、小谷村、小川村に災害救助法適用
11/23~	白馬村、小谷村の要請により、県備蓄物資(アルファ米、ブルーシート、室内テントなど)、弁当、ストーブ等を提供

(2) 応援部隊の動き

区分	派遣要請	活動内容	活動場所	撤収等
陸上自衛隊	11/23 02:25	断水地域での給水活動	白馬村	11/23 20:00
緊急消防援助隊	11/22 23:05	被災地域での捜索救助活動等	白馬村	11/23 14:15
県内消防	11/22 22:44	被災地域での捜索救助活動等	白馬村	11/23 15:45
警察災害派遣隊	11/22 23:05	被災地域での捜索救助活動等	白馬村・小谷村	11/23 14:45

3 地震災害の主な状況

消防による捜索救助活動

線路への土砂流入(白馬大池~千国駅間)

自衛隊による給水活動

鉄道不通区間(11/22~12/6) 白馬~南小谷駅間

家屋倒壊(白馬村堀之内)

	人的被害(人)		住家被害(棟)		
	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部損壊
長野市	2	10	4	44	1,576
松本市					1
岡谷市					1
中野市					5
大町市		2		6	101
飯山市					1
安曇野市					1
松川村	1				
白馬村	3	20	42	35	164
小谷村	2	2	33	78	223
信濃町		1			
小川村		1	2	11	185
飯綱町		2			11
計	8	38	81	174	2,269

1 建物全壊棟数

2 鉄道被災箇所

3 33

42

2

4 (長野市)

(被害、避難情報は、平成27年3月2日現在)